

今が旬！ 味が自慢の「とみさとの梨」 ～規格外の梨を活用した取組～

- 千葉県は梨の生産量が全国第1位です。すいかの産地で有名なここ富里市においても、土壌・気象条件に恵まれた梨の栽培適地として、8戸の農家が美味しい「とみさとの梨」を生産しています。また、千葉県の梨栽培発祥の地である市川市の生産者も梨畑に一番大切な土づくりにこだわり、富里の大地を選び品質の高い梨を育てています。
- 例年、梨の生産において黒星病などにかかった規格外の梨の処分が大きな課題となっていました。今年も、更に農業資材の高騰や天候不良による黒星病が多い傾向にあり、経営に大きな影響が出ていました。
- そこで、市内の梨農家の方々と市の観光交流拠点「末廣農場」が連携し、課題となっていた規格外の梨を活用した「梨のスムージー」を新たに開発して、期間限定で販売しています。
- この取組は、地域内の農業資源や労働を循環させて地域を豊かにする6次産業化と地産地消に貢献しています。



梨100%のスムージー

1 とみさとの梨の歴史

富里市は、千葉県に多い火山灰土壌であり、栄養分を保つ力が強く、排水性もよいことから、梨の栽培に向いており、昭和30年代前半頃から梨の栽培が広がり、長年蓄積された技術と土づくりによる梨の栽培が行われています。



2 とみさとの梨の生産（令和3年産栽培状況調査より）

栽培農家 8戸

栽培面積 8.57ヘクタール

生産量 160.7トン

3 とみさとの梨の主な種類

○幸水（こうすい） 収穫時期：8月上旬～8月下旬

市内でもっとも多く栽培されている品種です。昭和34年に品種登録され、両親は菊水（きくすい）×早生幸蔵（わせこうぞう）で、名前は両親の一字ずつを取ってつけられました。

とっても甘く、酸味はほとんどありません。果肉がシャキシャキして柔らかく、果汁が多いので、暑い夏にぴったりです。



○豊水（ほうすい） 収穫時期：8月下旬～9月中旬

昭和47年に品種登録。両親は、「幸水」×イ33（「石井早生」×「二十世紀」）です。

完熟豊水は糖度と程よい酸味のバランスが絶妙で、柔らかい果肉が濃厚な果汁となって口の中に広がるととても美味しい品種です。日持ちもよく、ゆっくりと楽しめます。



○新高（にいたか） 収穫時期：9月下旬～10月中旬

昭和2年に命名された品種です。とても大きな梨で、食感はさっくりしていますが、濃厚な甘みと香りがある梨です。比較的に日持ちが良いのでゆっくりと楽しむことができます。



○あきづき 収穫時期：9月中旬～9月下旬

平成13年に登録された比較的新しい品種です。両親は、「新高」×「豊水」×「幸水」という、人気の高い3品種の掛け合わせです。

糖度が高く、果肉は豊水のような柔らかさとキメの細かさで、食感は幸水のようにシャリッとした歯触りで果汁たっぷりで、まさに親たちの良いところを受け継いだ美味しい梨といえます。



問合せ先

担当 経済環境部農政課農業振興班

担当者 平山、岩瀬

電話 0476-93-4943 【直通】

FAX 0476-93-2101

メール nousei@city.tomisato.lg.jp

